

(題字：パドルダック やまざきゆいかさん・やじまあいかさん合作)

こぶしの風

第6号 平成25年5月10日発行

発行：社会福祉法人信濃こぶし会

広報誌こぶしの風編集委員会

〒399-3202 長野県下伊那郡豊丘村神福4026番地1

電話(0265)35-8511 FAX(0265)35-9016

URL <http://www.isoft.jp/hp/kobushikai/main/>

E-mail kobushi@dia.janis.or.jp

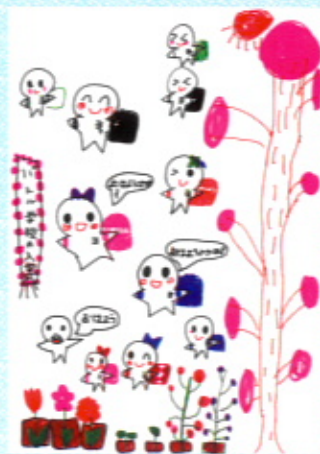
みんな仲良く くらしてま〜す♪



飯伊地区ケアホーム利用者交流会にて

目次

25年度の事業方針と変更点	2・3 P
白いマイクロバス運行開始	2 P
季節の行事『春』	4・5 P
『満足度調査結果報告①』パドル・アイビス	6 P
法人職員研修会	6 P
保護者の広場 ゲース・ぼっぼ	7 P
利用者さんの横顔 アイビス・第二こぶし園	7 P
職員の素顔 阪本由紀・櫻田寿史	8 P
職員の動き 宮沢孝明・市瀬加奈子 編集後記	8 P



(作：アイビス 土岐天音さん)

安心して暮らせる地域をつくるために

平成25年度 事業方針と変更点

各事業所に相談専門員を配置

相談支援事業

信濃こぶし会では、昨年度相談支援事業に専任職員を配置して相談に応ずる体制を作ってきました。しかし当法人の事業形態では、それぞれの事業に於いて相談できる体制にしたほうが、利用者のニーズや希望に沿えること、また収支の面からも効率的であることから、全事業ごとに兼務の相談支援専門員を配置することに方針転換しました。

今年度5名の相談支援専門員を配置しましたが、今年度中に研修に参加していただき、もう2名の専門員を配置する予定です。

グース、パドル、アイビス

ここ2～3年来、一般の保育園小中学校でも発達障害児支援に積極的に取り組むようになってきました。当法人の事業にも発達障害児、就学前障害児の相談と、身体介護を含め居宅支援の要望が多くなりました。そこで相談と支援を一体的に対応できる体制づくりを進めます。

白いマイクロバス運行開始
赤いバスもまだまだ現役

3月吉日、日本財団の福祉車両事業の助成を受け購入した、マイクロバスがこぶし園に納車されました。ゆとりのある乗降口に、オートステップを装備し、利用者さんが乗り降りしやすい仕様になっています。さっそく全員で交通安全を祈願し、4月から送迎車両として運行をスタートしました。大きな白い車体に緑のマークが映えるマイクロバスと、15年以上活躍してきた



ユアサポートぽっぽ

利用者の高齢化が進む中、親が亡くなるケースが多くなり、単に日中支援のみでなく生活全般の支援が求められるようになってきました。両親が亡くなり成年後見人選任の必要がある利用者も出てきており、この支援と手伝いをして行きます。

車椅子利用の重度身障害の方が多くなり、耐震構造でない建物2階での支援は、事業者として問題と考えています。今年度事業の重身ケアホーム建設の後には具体的な検討を行っていきたいと考えています。

ヘルパーステーション小川

行動援護移動支援、居宅介護など訪問系サービスについて、児と者の支援を分離していく計画です。ヘルパーステーションは者を担当する方向を進めます。こぶし園、第二こぶし園には強度の行動障害のある利用者がおり、自立を目指す支援が求められます。今年度サービス提供責任者を2名にし、障害特性に応じた支援、園と家庭以外での社会生活、社会体験を重ねる支援を進めて行く計画です。(管理者 片桐秀人)

赤いマイクロバス。紅白で、これからも送迎や余暇活動などに活躍してくれそうです。(木下美貴)



こぶし園・第二こぶし園 就労移行を廃止

こぶし園は「就労移行支援」と「就労継続B型支援」の多機能型事業所として運営してきました。本年度事業体系の見直しを行い、就労移行を廃止し定員30名の就労継続B型支援に一本化し運営してまいります。

就労移行支援は原則2年間の期限が設けられており、期限内に目標を達成することが大変難しく、継続的な支援体制の強化を講じて参りたいことから、この事業の見直しを行ないました。

また、「生活介護事業所」第二こぶし園は定員20名で運営してきましたが、本年度より定員を30名としました。養護学校卒業後の進路選択として、「生活介護」をご希望される方が増加傾向にあることから定員の変更を行なったところです。

こぶし園については、就労支援事業所の専門性を認識し、各関係機関と連携のもと「就職したい」という願いの実現とともに、「自分にはこんな仕事が向いているのだ」という自己分析のお手伝いを事業の核とし、そして何よりも自主生産活動を主力とした「物を作る楽しさ」「お客様に購入していただくよろこび」等、



はたらく楽しさ・よろこびを味わえるような取り組みを行なっていきたいと考えております。

第二こぶし園では、「はたらく」ことを中心とし、他者から認められ自分の必要性を十分に感じ取っていただける支援を心がけていきます。そして、地域の方々との交流やお楽しみ的な行事を取り入れ、充実した日々の提供に努めていきます。今年度は「はたらく」・「ゆとり」が第二こぶし園のキーワードとなります。

双方の事業内容は異なりますが、こぶし園・第二こぶし園との連携を深め、安全な活動を第一とし、利用者の皆さんへ、そして職員同士において、日々ねぎらいの言葉を掛け合える事業所を目指していきます。

(管理者 高本隆光)

喬木へ重度者用 ケアホームを建設

日頃から、ケアホームの運営にご支援ご協力いただき感謝を申し上げます。

昨年、就任早々に長野県による実地指導がありまして、職員配置において一部で基準を満たしていない

旨のご指導をいただきました。この結果を真摯に受け止め、早速、是正措置を執った所です。今後は、信頼され愛されるホームにするために、職員一同が気を引き締め職務に邁進する覚悟であります。

平成25年度は、新しく重度者用のケアホームを建設する予定です。場所は喬木村小川で定員は4名です。すでに、入居予定者は決まっておりますが、当法人の「いかなる障がいを持っていても地域において安心して生活できるように」との基本方針のもとに建設するものです。

また、現在、4つのホームで定員24名が生活しておりますが、この他にも利用希望者がいます。そこで、次のホームが必要になっておりますが、アパート方式も含めて検討しております。ご意見などいただければ幸いです。

本年度は、通常の事業に加えて「利用者の満足度調査」を予定しております。利用者及び保護者の皆さんと施設運営側がしっかりと意思疎通を図って、安心して地域生活が送れるよう支援してまいります。

今後も、職員一同が一生懸命に支援しますので、ご支援ご協力をお願いいたします。

(管理者 松下 亨)





ぽっぽおいしい春を実感

お彼岸には ぼたもちづくり

3月は利用者さんからご希望があり、お彼岸にぼたもち作りをしました。とってもとってもおいしくて、皆さん大満足の様子でした。

お弁当がうま〜い！ お花見昼食会



4月は喬木村の大原机山公園の満開の桜や、飯田市鈴岡公園のつつじを見ながらの、お花見昼食会を楽しみました。外で食べるお弁当のいいこと！食後には、マレットゴルフやキャッチボール、ののひる探りなど……の〜んびり、それぞれの時間を楽しまれました。



ののひる取りの名人



ぽっぽあーと
見に来てね！



2013年6月25日(火)～30日(日)

飯田市美術博物館市民ギャラリーにて、今年も「ぽっぽあーと展」が開催されます。皆さん、ぜひ素敵な作品に逢いにきてください。ぽっぽあーと 見にきてください。

パドル アイビス

南信濃へ ドライブ



4月13日に、かぐらの湯と南信濃にある旧木沢小学校へお花見に行ってきました。目的地までの道のりはちょっとしたドライブとなり、3台の車に分乗しワイワイガヤガヤ(?)と向かいました。かぐらの湯ではお土産を選びました。決められた金額の中で家族に自分にと、それぞれの想いで買い物をしました。

旧木沢小学校では木造校舎に桜が映え、青空の下でお弁当を食べるといった絶好のシチュエーション！CMやTVで紹介された猫の校長先生(たかねさん) [写真左]にも出会うことができ、和やかな時間を過ごしました。



CMやTVで紹介された猫の校長先生(たかねさん) [写真左]にも出会うことができ、和やかな時間を過ごしました。

ケア ホーム ボーリングと 買物

3月9日(土)に平成24年度 第4回目のケアホーム合同余暇を行ないました。

利用者さん、世話人さん合わせて28人でオークラボールにてボーリングをしました。

年度最後の合同余暇はここ数年、ボーリングが定番になっているので今年も例年どおりにボーリングに出かけました。オークラボールには何度も出かけているので、みなさんスムーズに準備をしてゲームを始めました。時間の都合で2ゲーム目の途中で終わりにして座光寺の「情熱家族」にての昼食をとりました。昼食のメニューは「から揚げ定食」と「牛カルビ定食」から選択ができ、好きな方を選んで食べました。

みなさん、大満足！昼食後はこちらも定番になっているアピタ高森店にて買い物をしました。それぞれ欲しいもの、必要なものを世話人さんと一緒に選びました。



季節の
あ
け

こぶし園 第二こぶし園

和食と演歌の

コラボランティア

3月22日にこぶし園・第二こぶし園では、和食の達人“鎌倉徳雄さん”との昼食会と松川町在住“藤和也さん”の歌謡ショーが行われました。

鎌倉さんには、ボランティアで毎年本格和食のお料理を振舞っていただいております。今年で11回目を迎えました。そして、今年のメインは、伊勢湾で釣り上げられた新鮮な鯛とハマチを鎌倉さんの知人で滋賀県にお

住いの熊谷さんからいただき、鯛の木の芽寿司と刺し盛りに調理していただきました。

午後からは、藤和也さんの歌謡ショーを楽しみました。周りで聴く藤さんの歌声は、迫力があり圧倒されました。ショーの途中では、利用者さんたちも数曲歌わせていただいで大いに盛り上がりしました！



行事
お楽しみ

春休み

楽しいイベント 盛りだくさん!

グース

ピザ作り&
いちご狩り

春休み…バスに乗って出かけたかざこし公園。初挑戦の本格窯で焼く“ピザ”作り。自分でこねて、のばして、トッピングして…その出来映えたら…感動モノでした!

また毎年恒例となった“いちご狩り”。一番大きそうなのを見つけてバクリ…赤く熟れたのを探してバクリ…甘い香りと笑顔がいちごハウスをいっぱいにしました。



ほとんどの項目が満足とやや満足

利用者満足度調査結果報告No.1 (パドルダック・アイビス)

1. 子供さんの状況について (①満足②やや満足③やや不満④不満) (人)

・子供さんは喜んで行っている	① 16	② 6	③ 0	④ 0
・子供さんとスタッフの関係	① 17	② 6	③ 0	④ 0
・子供さんの意思をスタッフが理解している	① 14	② 9	③ 0	④ 0

2. 施設、設備について

施設・設備の安全面	① 10	② 10	③ 2	④ 0
遊具等の安全面	① 15	② 7	③ 0	④ 0
子供が楽しめる環境作り	① 11	② 10	③ 0	④ 0

3. 当事業所を選んだ理由

- ・支援内容がよかったから。
- ・親の相談にもものってくれるから。
- ・体育館での活動があるから。
- ・多くの学校の子供さんが利用して関われるから・・・等。

4. その他、要望等

- ・営業時間について 夕方の時間延長、休日対応、夜間の自宅支援、宿泊体験、病児、病後児支援の希望有り。
- ・イベントへの付き添い。
- ・回答して頂いたアンケートの詳細は、後日改めてご報告します。

法人研修会

支援者の原点へ立ち返る



雪が舞い散る2月24日、法人内全職員を対象に研修会を開催しました。参加職員は64名となりました。

今回は、『支援者の原点へ立ち返ろう』を

テーマに、飯伊圏域地域相談支援体制支援アドバイザー・長野県社会福祉事業団理事長 辰野恒雄氏・元療育センターひまわり（現：飯田市こども発達センター）園長・信濃こぶし会理事 海老沼雅代氏、2名の講師の方よりお話をいただきました。

日々の業務や生活に追われる中で、本来の支援者としての在り方、振り返ることの少ない日々の支援者としての原点。長く続けていると忘れがちになっている支援者として、原点に立ち返って自分を見つめ直すことが出来た1日でした。利用者の方の気持ち・思い・

希望等を残して、支援者の立場で意思決定をし、「大丈夫だろう」「そこにいるだろう」等の思い込み。それが全ての事故に繋がることを学び、現在の支援者としての自分を振り返ることの大切さを学ぶ良い機会となりました。

今回の研修で、辰野氏のお話の中での『私たち支援者の原点は、主人公は「利用者の方」』。海老沼氏の『もし自分だったら…もし自分の子どもだったら…』の言葉を心に刻み、今後も『支援者としての原点』を忘れず、利用者の方を主人公に初心を忘れず、時に振り返っていきたいと思います。(中島しのぶ)



保護者の広場

グースは 楽しい

グース保護者
菅 沼 久美子さん



小学部低学年の頃から利用させて頂いています。グースで過ごす時間はとても楽しいようで、学校は休みたいけどグースには行きたい。なんて言うことも…。

ごはん?! と思えるようなスタッフの方が作ってくださるおやつも毎回楽しみにしているようです。時々土曜日にも利用していますが、本人の希望を聞いて頂き、買い物等に連れて行ってもらったりと楽しく過ごしているようです。

イベントも色々計画してくださり、珍しいところに連れて行ってもらったり、おいしい食事をみんなで作って頂いたり毎回楽しく参加させて頂いています。仕事や家の都合での急なお願いにも対応してくださり、とてもありがたく思っています。今年は高等部3年生! グースを利用できるのもあと1年しかなく淋しいですが、引き続きよろしくお願い致します。

小さな経験

ぼっぼ保護者
野村 順吉さん



自ら選んで入ったぼっぼです。もう8年が経ちました。

当初は、体調を崩す時もありましたが、現在は元気に

出かける日が続いています。引っ込み思案だった子が、自己主張もできるようになりました。

毎日の生活の中でぼっぼのスタッフの皆様、利用者の皆様との関わりが大きな力になっていると思います。シュシュや針山作りなど、針を持った事のない子が、家でも雑巾などを縫っていて、興味を示しています。

もう8年でなく、まだ8年。これからの長い人生、日々の生活の中で、多くの小さな経験が本人の糧になる事を願っています。

利用者さんの横顔

アイビス

米山 孝二さん



孝二さんは年下のお友達にも丁寧に静かに話しかけてくれる優しいお兄さんです。

環境問題にも関心を持ち、その分野の話を詳しく教えてください。

先日こんなエピソードがありました。

孝二さん:「あっ! あれ、つばめですよ」

スタッフ:「えっ! どこですか?」

孝二さん:「あっ! ほらあそこです」

スタッフ:「うわぁー本当だ! もうつばめが来たんですね」

孝二さん「今年初めて位のつばめじゃないかなあ」
こんな風に季節を敏感にキャッチしてくれる鋭い感性の持ち主でもあります。

第二こぶし園

塩澤 福嗣さん



第二こぶし園の「まき班」で仕事をしている、塩澤福嗣さんです。

暑い日も寒い日も、まきの現場へ行き、割ったまきを運んで並べる仕事を中心にしています。その他にも、冬の時期になると、まきストーブを使っている家へまきを配達する仕事にも取り組んでいます。また、椎茸の袋詰めなどの細かい仕事も得意な仕事の1つです。

福嗣さんは力持ちでとても働き者で、まき班の中でも頼りになる存在です。

また、生活面では、いつも明るくお話が好きな福嗣さんは、周りを元気にしてくれます。お昼休みにはパソコンを見ることをとても楽しみにしています。

アイビス

阪本由紀
(指導員)



息子がパドルダックを利用して約4年、「一緒に働きませんか?」と誘われて、私もパドルダックのスタッフとなり、途中アイビスに異動となってトータル約3年が経とうとしています。スタッフとして働きながら、ヘルパー2級の資格を取らせていただきました。週1回の勤務だったのが、今は週3日程お世話になっています。私は出掛けることが好きです。最近、立山黒部アルペンルートへ家族で行ってきました。室堂での雪の大谷ウォークを体験することができ感動しました。雲一つない天気、雪の壁(18m!)の白と青空のコントラストが見事でした。今度は秋の紅葉の季節も見に行きたいな～

職員の素顔

第二こぶし園

櫻田寿史
(生活支援員)



第二こぶし園でお世話になっています櫻田寿史です。昨年度までは、こぶし園で活動させて頂いていましたが、今年度より第二こぶし園で活動させて頂いています。こぶし園では、3年間お世話になりましたが、第二こぶし園では1年目ということで、初心に戻り、新鮮な感じで毎日活動させて頂いています。また、見た目からは意外と思われるかもしれませんが、小学生の頃からずっと野球をしています。ちなみに高校時は坊主でした。(笑) 更に最近少し洒落てピリヤードがマイブームです♪

こんな私ですが、こぶし園・第二こぶし園に来た際や町で見かけた際には気軽に声をかけて頂ければ嬉しいです。今後よろしくお願いします(^o^)/

職員の動き



ユアサポートぼっぼ

生活支援員
宮沢孝明

この3月から、ユアサポートぼっぼでお世話になっています宮沢と申します。

新しい世界でお世話になることになりました。還暦過ぎての新生です。利用者の皆さんとの新しい出会いに感激を味わうと共に、反省の毎日です。

山登りが趣味で、歳の割にはまだまだ元気な方だと勝手に思っています。どうぞよろしくお願いします。



ユアサポートぼっぼ

生活支援員
市瀬加奈子

4月よりぼっぼにお世話になっております。今までも福祉の仕事をしていましたが、多機能型の施設は初めてなので、勉強の毎日を送っております。みなさんとても明るく元気で、私の方がいつもパワーをもらっています。1日でも早く慣れ、いつでも笑顔を忘れないことを心がけてみなさんと楽しく過ごしていきたいと思っています。ご指導よろしくお願い致します。

この春の人事異動(正規職員関係)

●退職(3月30日～5月15日付)

こぶし園 佐藤史恵、ケアホーム・ヘルパーステーション 中島仁美、ぼっぼ 井坪明菜、宮脇深志

●異動(4月1日付)

() 内旧任

こぶし園・第二こぶし園管理者兼相談支援専門員 高本隆光(第二こぶし園管理者)、相談支援専門員兼居宅支援サービス提供責任者 林裕子(相談支援)、こぶし園サービ

ス管理責任者 小木曾優介(第二こぶし園)、第二こぶし園生活支援員 櫻田寿史(こぶし園)、ケアホームサービス管理責任者兼居宅支援支援員兼相談支援専門員 林知子(ヘルパーステーション小川)、ゲース発達支援管理責任者兼相談支援専門員 中島しのぶ(ゲース)

●新規採用(4月1日付・5月1日付)

ぼっぼ生活支援員 市瀬加奈子、第二こぶし園生活支援員 金子めぐみ、渡辺雅子、アイビス指導員 熊谷早苗



運動をするのにピッタリなこの季節。運動不足解消のために、まず歩いてみようと思っても、車に乗ってしまい歩けない。日常生活で、テキパキ体を動かせば、カロリーも消費できると思っても、動けない。やる気が起こらないのも運動不足に関係がありそうです。体を動かして汗をかくのは気持ちいいこと。健康のためにも、できることから少しずつ始めようと思うこの頃です。

(木下美貴)